

地域活性化の視点から 市民のエネルギーチェンジ研究会 in 浜中



日時

2015年3月26日(木)
16:00~18:30

会場

浜中町 霧多布湿原センター
〒088-1304 北海道厚岸郡 浜中町四番沢 20
0153-65-2779

事前参加申込要 (3/23〆切) 参加費500円 本申込書を FAX、または E-mail、電話等で下記「きたネット」まで、ご連絡ください。

再生可能エネルギーと自然保護の課題 吉田 文和 北海道大学大学院経済学研究科 特任教授

温暖化のリスク、原子力のリスク、エネルギー安定供給のリスク、これら3つのリスクを総合的に減らしていくためには、風力、太陽光、バイオマスなどの再生可能エネルギーの拡大と省エネが2つの重要な柱となります。

しかし、その場合、北海道などの再生可能エネルギーのポテンシャルが高い地域は同時に自然保護上、配慮しなければならないところが多いのです。とくに、風力発電の場合には、鳥類の衝突を避けるようにすること、自然景観への配慮が不可欠です。

再生可能エネルギーを使わず、電気を使う場合には、火力発電による二酸化炭素の発生、原子力発電のリスクを考えなければならず、風力発電は避けたいが、電気は使わなくてもよい、と簡単にはいかないのです。

そこで、地域住民、行政、関係するNGOなどが話し合いの場を持ち議論することが是非、必要となっているのです。自然環境保全を行いながら、再生可能エネルギーを拡大していくための条件を、住民参加と情報の透明性を確保しながら進めていくことが求められているのです。

専門は環境経済学、産業技術論。2007年より北海道大学サステナビリティ・ウィーク実施、低炭素社会づくり教育プロジェクト実施に尽力。一般社団法人北海道再生可能エネルギー振興機構理事、北海道エネルギーチェンジ100ネットワーク委員

市民の意志をつたえ、つなげて、
北海道の新しい力になる。

市民のエネルギーチェンジ

これまでの活動



2011年6月、地産地消エネルギーの最大限の活用、自然エネルギーアイランドへのシフトをめざし、きたネット会員有志による「北海道エネルギーチェンジ100プロジェクト」をスタート。「北海道省エネルギー・新エネルギー促進条例」の周知・推進、「北海道の電気・再生可能エネルギー100%へのロードマップ」による提言、市民主体のセミナーなどを行ってきました。2014年3月に、活動が評価され、北海道新聞エコ大賞奨励賞を獲得しました。

「自然エネルギー」推進をさらに大きなムーブメントにするために、2014年5月「北海道エネルギーチェンジ100ネットワーク」が設立されました。自然エネルギー100%の北海道をめざし、市民主導の見えるネットワーク、行動するネットワークをめざして活動しています。

参加申込書 FAX.011-215-0149

お名前

所属

連絡先 〒

Tel.

Fax.

E-mail

主催・参加申込み・お問合せ/
認定NPO法人北海道市民環境
ネットワーク「きたネット」

札幌市中央区南1条西5丁目8 愛生館ビル505
Tel. 011-215-0148 Fax. 011-215-0149
E-mail office@kitanet.org
●web <http://kitanet.org>

主催/北海道エネルギーチェンジ
100ネットワーク

札幌市中央区南1条西5丁目7 愛生館ビル407
Fax. 020-4622-7990
E-mail e-office@enechan100.com
●web <http://enechan100.com/>

協力/認定NPO法人霧多布湿原
ナショナルトラスト
一般社団法人北海道再生可能
エネルギー振興機構

後援/浜中町 浜中町農業協同組合